

表2 論文、研究報告、実践報告の査読評価基準

評価項目(原著)	(原著)論文	研究報告	実践報告
1. 本誌の読者に対して有用か	○	○	○
2. 本誌にふさわしい論文か	○	○	○
3. 研究/実践に独創性や萌芽性があるか	○	◎	△
4. 先行研究の展望は十分か	◎	○	△
5. 研究/実践の目的が明確に記述されているか	◎	○	○
6. 倫理規定に関わる「同意書」についての記述があるか。あるいは被験体への倫理的配慮についての記述はあるか	○	○	○
7. 手続きが再現できるように過不足なく記述されているか	◎	○	◎
8. 独立変数と従属変数の関係性が明確に示されているか	◎	○/△	△
9. 独立変数が従属変数に与える効果は十分に大きいか	◎/○	○	◎
10. 社会的妥当性が示されているか	◎ (応用のみ)	○ (応用のみ)	◎
11. データは結論を支持しているか	◎	◎	◎
12. 考察は妥当か	◎	○	○
13. 研究結果に学術的/応用的な価値が認められるか	◎ (学術的)	○	◎ (応用的)
14. 今後の発展に期待できそうか	○	◎	○
15. 文章はわかりやすく、正確に書かれているか	○	○	○
16. 用語や概念などが正確に使われているか	○	○	○
17. 「執筆要項」「投稿の手びき」にそって書かれているか	○	○	○
18. 誤字脱字、作図、作表など、論文全体の完成度は十分に高いか	○	○	○